

「公共事業コスト構造改革プログラム」

【 施策名： (2) 計画・設計から管理までの各段階における最適化 【 1 】 計画・設計の見直し 】

擁壁の意匠型式の変更によりコスト縮減

工事名：平成15年度竜の子広場整備工事

概要：原設計では施工箇所が公園主要部であるため、擁壁前面に石張風の修景型枠を計画していたが、景観に配慮しつつ、コスト縮減が可能な、蔓性植物による表面植栽へ変更した。

(原設計) 修景型枠

(変更設計) 表面植栽

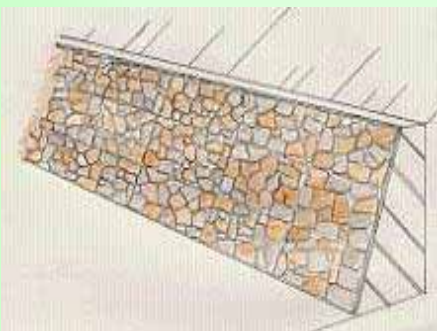
効果

広場整備工事費を、137.5百万円から133.2百万円に縮減。

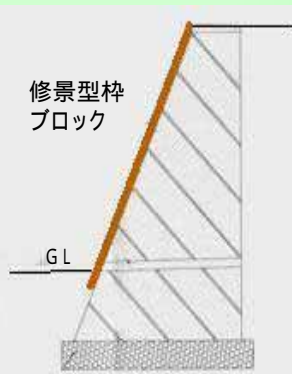
(縮減額 4.3百万円、縮減率 約3.1%)

・蔓性植物の維持管理が新たに必要となるが、擁壁上部等の周辺植栽の維持管理と併を行う程度であり経費増は僅かである。

原設計



修景型枠
ブロック



変更設計

